

第九回新宿区地域公共交通会議

議 事 要 旨

日時：平成 22 年 11 月 29 日（月） 10:00～11:40

場所：新宿区役所第二分庁舎 3 階 会議室

1 開会

2 議題

- ・新宿駅周辺循環型バスの運行計画の変更について

3 委員からの主な意見・質問

○新宿駅周辺循環型バスの運行計画の変更について

- ・「新宿駅東口」停留所については現在協議中ということだが、明日の認可申請はどうするのか。
→スケジュールは 11 月 30 日としているが、明日には出したいという希望である。
「新宿駅東口」のバス停については、現在都交通局、はとバスと調整しており、協議が調わなければ申請は行わない。協議をしないで申請するという事ではない。
- ・仮称になっている新規バス停の名称について、地元の人たちは「〇〇何丁目」でもわかりやすいと思うが、初めて乗る人たちにはわかりにくい。利用客を増やすことを考えると、もう少しわかりやすい名称に変えたほうがいいのか。
- ・ランドマーク的な商業施設の名称も取り入れて、わかりやすいバス停の名称にして利用客をどう増やしていくかを検討する必要があるのではないか。
→他のバス事業者と共用する停留所については、同じような名称にするしかないと考えている。
また、駅については、駅名そのものを案内したほうがわかりやすいと考える。店舗名などもつけていきたいが、ネーミングライツということで既にも買っているところもあるので、それらをふまえてこれから検討していきたい。
- ・「新宿三丁目」は平日と休日で 2 ヶ所あるが、別々の名前のほうがよい。
- ・WEバスのもともとの運行目的として買物客や旅行者に乗ってもらうということがあるので、ランドマーク的な名前にしていかないと、利用が増えないのではないか。
→連続して呼ぶ副呼称で対応していく。
- ・バス停の名称として、一番わかりづらいのは「新宿通り」。御苑も、「新宿御苑」に何々門などにつけないと御苑前駅と混乱する。副呼称は積極的につけたほうがよい。
- ・バス停の標識も、もう少し目立つようなバス停にしないと、どこにあるかわからない。
→現在のバス停は、実際に新宿の街の中で見ると非常に目立たないという意見が強いので、原点に立ち返って、通常のシンプルな路線バス停留所の使用を考えている。中のデザインは若干 WEバスの色を使うかもしれない。
- ・単にルートを変更しただけで利用客が増えるのかどうか。
- ・ルート変更による利用数は、現行よりどれくらい増えると考えているか。
→新宿通りを中心とした通行量や人の出入を基に発生率を算出し、似通った地域の発生率と比較して、およそ 500 名程度を目標としている。運賃だけでは足りないが、協賛又は広告が予定通り取れた場合でおよそ 1,000 人くらいが目安である。
- ・新宿駅東口を JRバスが通過する、あるいは停まるかもしれないという話があるが、対応策を考えておかないと、渋滞の原因になるのではないか。

- ・JRバスが新宿駅東口に停車することで渋滞の課題も出てくるが、東口が交通結節点になる可能性もあるので、JRバスとは密に連絡をとって進めてほしい。

○会長・副会長からのコメント

- ・停留所の名称の件については、一つは同じ場所にあるバス停が、名称が異なった場合のわかりにくさ。もう一方では、初めて来た人やよそから来た人が、その停留所名で位置関係などをスムーズにイメージできるか。この両面をいかにきちんとインフォメーションができるかが課題。
- ・共有するバス停については、頭は同じ名称を使って、多少停留所名は長くなっても、新宿三丁目何々前であるとか必要な情報を付け加えていくというのが一番望ましいのではないか。
- ・「新宿御苑」と「新宿御苑前（駅）」というように、違うバス停でも一見するとよく似たバス停の名称になっているところがある。確かに新宿御苑はランドマークだが、よそから来た人にとっては、どちらを利用したほうが便利なのかが非常にわかりにくい面がある。
- ・利用者から見て紛らわしいと思われるようなところは、調整したほうがよい。
- ・バス停の名称については、最終的な確定までの間に十分に協議して決めてほしい。その際、委員には、こういうふうにしたいということを郵送でよいので聞いてもらいたい。
- ・変更を機に、宣伝や情報提供をより積極的にしてもらいたい。ルートマップの入手が難しいという意見も聞いている。新顧客獲得のためにも、宣伝にはかなり力を入れたほうがいい。
- ・写真コンテストの入賞作品は、どのような形で一般に結果をPRし、今後どういうふうに活用していくのか。
→写真展を10月1日から15日まで開催した。優秀賞、入選、特別賞については新宿区が著作権の委譲を受けているので、ホームページやWEバスの中のモニターなどで活用させていただく。
また、写真展については、今後も新宿中央公園内の区民ギャラリーや大ガードの「みるっく」など、会場を移して展示をしていきたい。
- ・可能であれば継続して、来年もまた写真展をやるなどの発展をさせていってほしい。
- ・少しでもWEバスという存在がメディアに載ったり、あるいはどこからか聞こえてくる、見えてくるような形にすることによって存続してもらうことが大切。新宿という環境の中では、普通のことをやっていたのでは中々周知されないなので、一生懸命アピールしていってほしい。

○地域公共交通会議としての合意について

- ・意見の出ているバス停の名称、バス停の標識については、今後準備を進める中で配慮する。
- ・「新宿駅東口」バス停については、今後調整ができ次第確定する。

以上2点を前提として、運行計画変更案については、地域公共交通会議として了承

○今後の予定について

- ・バス停名称、バス停標識については、確定した段階で委員に通知する。
- ・関係者間で「新宿駅東口」の協議が整い次第、運行事業者が認可申請を行う。
- ・次の会議日程は未定。新たな課題が発生した時点で開催。